

～今回は耳鼻咽喉科の巻～
時に耳にするこんな声に
答えてみました

“補聴器は雑音ばかりで役立たず！？”

確かに、補聴器を買ったもののすぐに使わなくなった方がたくさんみえます。

この原因は、買う前の検討が不十分な事とアフターケア不足が多いと考えています。そこで我々は、無駄な買い物とならないように、2週間に1回の補聴器専門外来で、言語聴覚士とプロの補聴器屋さんと共に頑張っています。

なお、ちまたにはプロの補聴器屋さんだけでなく、素人のような補聴器屋さんも隠れていますのでくれぐれもご注意を。補聴器の購入時は、とりあえず近くの耳鼻科で診察を！



“主人たら、すごいビキで息も止まるのよ”

これこそ、最近話題の“睡眠時無呼吸症候群”かもしれませぬ。風邪は万病の元と言いますが、この病気は、高血圧、不整脈、心不全、精神障害、内分泌異常そして交通事故の元です。

当科では、専門外来で最新の機器で検査、治療を行っています。心配な方は受診をお勧めします。

(文末参照)

“鼻のレーザー手術っていらしいわよ”

鼻のレーザー手術は、鼻づまりや鼻炎に対して有効な日帰り手術です。また、H14年より手術時の痛みを減らす工夫を追加しました。完璧とは言えませんが、痛みのない鼻の手術を目指しています。

しかし、鼻の治療はそれだけではありません。

蓄膿症(副鼻腔炎)には内視鏡手術を行うようになり、20年前と比べれば飛躍的な医学の進歩です。

また、アレルギー性鼻炎の薬は、以前と比べて優秀な薬がいろいろと出てきました。



“鼻血が出たらどうするの？”

子供の頃からいくつかの俗説を聞いた事がありますが、一般的で理にかなった対処法を並べてみます。これで、20分以上止まらなければ病院へ。

椅子やソファに座って楽な姿勢をとる

(寝転がるのは間違い。鼻を心臓より高い位置にして鼻部の血圧を下げるノリラックスも血圧が下がる大きな要素。)

鼻翼(鼻の横に膨らんだ部分)を人差し指と親指で押さえる

(出血点の多くは鼻入り口からすぐの中央の壁)

鼻を氷などで冷やす

(血管は冷却すると収縮して流れる血液が減る)

ノドに降りた血液ははき出す

(血液はたくさん飲むと気持ち悪くなる)

裏へつづく

“喉頭ガンが心配です、咽頭ガンも心配です”

確かに、まれにノドにガンができます。有名人にも聞かれます。これらのガンの多くは、直接目で見て発見します。当科では、数種のファイバースコープを使い分け積極的に観察、必要に応じて精密検査を行います。ところで、これらのガンの原因は多くがやっぱりタバコ。心配なのに、タバコは吸うんですね。



“何にもしていないのに顔が半分動かない！”

これは、一大事。ですが、決してめずらしい病気ではなく、顔面神経麻痺という病気です。一日でも早く病院に来てください。治療開始の早さと内容が勝負です。そして、適切な治療ができれば8割の方は治ります。



“耳の下が腫れているんですけど...”

我々の最も得意とする所です。まずは、見せてください。専門医として、現代医学の可能性と限界を踏まえて、診断から治療まで行います。ただし、治療内容によって、大学病院やがんセンターでの治療が望ましいと判断したときは、その旨をお話してご紹介しています。

“中耳炎の^{しんじゅつせい}滲出性と^{しんじゅしゅせい}真珠腫性って何？”

滲出性中耳炎は、中耳にお水がたまる中耳炎で、痛みはなく“耳のつまったような感じ”がします。これは、主に中耳の気圧調節のしくみが上手に働かなくなると起こります。

一方、真珠腫性中耳炎は骨を壊しながら広がるたちの悪い中耳炎です。通常、手術が必要です。これ

以上の説明は、長くなるのでまたの機会にします。

これもまた、我々の得意とする所ですから、耳の心配事があれば早めに見せてください。我々は、いずれも通院治療から手術治療まで状況に応じて使い分けます。

書いているうちに、しだいに当科のアピールになってしまい申し訳ありません。

...意図的ではありますが...

“時に耳にするこんな声”と始めたものの、いつのまにか“ほとんど耳にしないこんな声”になっていました。...すいません。



最後に

“風邪をひいたら内科、耳鼻科どっち？”

どちらでもかまいません。

強いて言えば、症状が鼻かノドに集中していれば耳鼻科へどうぞ。ただし、どちらにかかっても一回の診察のみで治りきらない事もあれば、まれな病気が潜んでいる事もあります。また、2回目の受診を迷った場合、2回目は同じ医師、3回目は別の医師が良いかもしれません。

さて、我々は耳鼻咽喉科開業医の先生と業務のすみ分けを目指しています。通院主体の方は午前診と夕診のある開業医さんで、手術や詳しい検査を必要とする方は市民病院で。ただし、初診の方はどちらでもかまいませんので、深く考えずにどうぞ。



注 “補聴器外来”と“いびき睡眠時無呼吸外来”の各専門外来は、検査を受けて頂いた後の予約外来です。最初は、午前中の診療時間にお越しください。

(耳鼻咽喉科 柘植勇人)

稲沢市民病院 診療担当医師一覧表

平成15年9月1日現在

| 診療科名 | 時間区分 | 診察区分 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 備考 |
|------------|----------|----------------|----------------|------------------|--|-------------------|--|--------------------|
| 内科 | 午前 | 1 診 | 小林(泰) <内分泌> | 奥山名誉院長 <内分泌> | 桐山 <内分泌> | 奥山名誉院長 <内分泌> | 小林(泰) <内分泌> | |
| | | 2 診 | 福井副院長 <循環器> | 小林(茂) <循環器> | 福井副院長 <循環器> | 小林(茂) <循環器> | 福井副院長 <循環器> | |
| | | 3 診 | 広瀬 <循環器> | 斉藤 <消化器> | 鶴飼 <消化器> | 糟谷 <内分泌> | 栗木 <消化器> | |
| | | 5 診 | 馬場 <腎> | 宮川 <腎> | 馬場 <腎> | 山本 <腎> | 宮川 <腎> | |
| | | 6 診 | 糟谷 <内分泌> | 市川 <内分泌> | 佐々木 <消化器> | 服部 <消化器> | 長尾 <呼吸器> | |
| | | 7 診フリー | 栗木 | 糟谷 | 小林(茂) | 福井副院長 | 広瀬 | |
| | | 8 診フリー | 服部 | 山本 | 宮川 | 小林(泰) | 市川 | |
| | | 午後 (予約制) | | 斉藤<消化器> 宮川<腎> | 福井<循環器> 鶴飼<消化器> 桐山<内分泌> | 栗木<消化器> 宮村<血液> | 広瀬<循環器> 荒尾<消化器> 桐山<内分泌> (白木<腎>) 吉田<神経> | 山本<腎> |
| 小児科 | 午前 | 1 診 2 診 | 柳瀬 藤巻 | 生田 | 柳瀬 | 藤巻 | 柳瀬 生田 | |
| | 午後 (予約制) | | 予防接種 | 柳瀬・藤巻 <慢性外来> | 1か月健診 | 柳瀬・生田 <慢性外来> | 乳幼児健診 (第1週以外) <心臓外来> <神経外来> | (第1週) (第1、3、5週) |
| 外科 | 午前 | 1 診 2 診 | 上松 西垣 | 宮本 住田 | 上松 小児外科 | 秋山 西垣 | 宮本 住田 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 脳神経外科 | 午前 | 1 診 2 診 | 山田院長 ―― | 岩越 ―― | 山田院長 岩越 | 丹羽 ―― | 丹羽 ―― | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 泌尿器科 | 午前 | | 傍島 | 森川 | 傍島 | 加藤 | 傍島 | |
| | 午後 | | 傍島 | ―― | ―― | 加藤 | ―― | |
| 整形外科 | 午前 | 1 診 2 診 | 今村 佐々 | 今村 吉村 | 橘 杉浦 | 今村 吉村 | 橘 吉村 | |
| | 午後 (予約制) | | ―― | ―― | 杉浦(リウマチ) | ―― | ―― | |
| 皮膚科 | 午前 | 1 診 2 診 | 正木 中村 | 正木 中村 | 正木 中村 | 正木 中村 | 正木 中村 | |
| | 午後 | 2:00 ~ 4:00 | 中村 | ―― | 正木 | ―― | 富田(第1金: 予約制) | |
| 産婦人科 | 午前 | 婦人科 産科 | 清野 加藤 | 加藤 片山 | 片山 清野 | 片山 加藤 | 加藤 清野 | |
| | 午後 | | | | | | | |
| 眼科 | 午前 | 1 診 2 診 | 池間 山下 | 池間 山下 | 池間 山下 | 池間 山下 | 池間 山下 | |
| | 午後 (予約制) | | ―― | ―― | ―― | 池間(網膜) | ―― | |
| 耳鼻咽喉科 | 午前 | 初診・フリー診 予約診 | 柘植 八木 | 長島 柘植 | 柘植 八木 | 山田 八木 | 八木 柘植 | |
| | 午後 (予約制) | | 予約学生診(3時~) | 柳田(1時~) | 1・3週 いびき外来 柘植、八木 2・4週 補聴器外来 柘植、八木 | 柳田(1時~) | ―― | |
| 10 歯科・口腔外科 | 午前 | 初診 再診 | 石井 日下 | 日下 石井 | 日下 石井 | 鍋島 日下 | 石井 鍋島 | |

診療担当医師一覧については、病院ホームページでもご覧いただけます。(URL <http://www.city.inazawa.aichi.jp/hospital>)

検査室からのお知らせ

検査室受付で、患者様からよくお聞きするご質問にお答えさせていただきます。

検査受付開始及び終了時間について

外来検査受付業務の開始は、午前 8 時 30 分からとなります。受付開始時、大変混雑いたしますので、混乱をさけるため、午前 8 時から検査受付カウンターに番号札を出しております。早朝、検査受付をされる方は、番号札をお取りになり、受付開始時間になるまでお待ちください。

通常、検査業務は、午前 8 時 30 分から午後 5 時までです。ご自宅からお持ちの検体（便、痰、尿）などもこの時間内に提出をお願いします。

採血容器などについて

できる限り採血量を少なくするように心がけておりますが、採血管は検査の種類や目的に応じ種類が増えますので、その旨ご了承ください。お願いします。

採血後の止血ベルトについて

採血後、ベルトを巻いて止血させていただいておりますが、これは確実に圧迫を加え、内出血などを防ぐことを目的としております。ただし、お急ぎの方や不要の方は、採血時にお申し出ください。

止血に用いた綿花は、検査室受付入口の専用ごみ箱にお入れください。

検査の分析にかかる時間について

緊急検査項目であれば、時間のかかる生化学検査で 40 分、その他の検査なら大体 30 分以内。緊急検査項目以外のお急ぎの検査に関しては、1 時間ほど時間をいただきます。

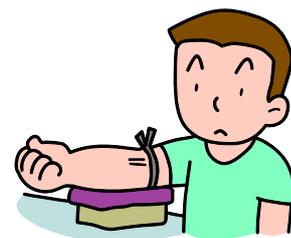
尿検査について

採尿の量は検査の項目にもよりますが、採尿コップの一番下の目盛り線で約 25 cc になりますので、それくらい採尿できれば問題ありませんが、それ以下の場合には、担当者に一声かけていただきますようお願いいたします。

検査項目の資料について

検査室受付には、生化学検査・血液検査などの検査の項目に関する目的や、正常値を一覧表にして、ご用意しております。必要の方はお申し出ください。

検査室一同、今後ともより精度の高いデータを皆様にご提供できるよう努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



稲沢市民病院ニュース 第7号

発行日 平成15年9月16日発行
発行元 稲沢市民病院 広報委員会
492-8510 稲沢市御供所町 1 - 1

ご意見をお待ちしています

電話 0587(32)2111
ファックス 0587(32)2151
電子メール hospital@city.inazawa.aichi.jp